

## 第 1 調査のあらまし

## 1 調査目的

令和3年8月22日（日）執行の横浜市長選挙における市内有権者の投票行動、政治への関心、選挙についての意識を探ることにより、今後の選挙行政の基礎となる資料の作成を目的とする。

## 2 調査項目

- (1) 市民生活
- (2) 政治意識
- (3) 横浜市長選挙での投票行動
- (4) 投票率や制度の改善に関する意識
- (5) 選挙意識
- (6) フェイスシート

## 3 調査仕様

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| (1) 調査地域   | 横浜市全域              |
| (2) 調査対象   | 横浜市内の有権者           |
| (3) 標本数    | 6,500              |
| (4) 抽出方法   | 選挙人名簿による無作為抽出      |
| (5) 調査方法   | 郵送法（はがきによる督促1回）    |
| (6) 調査時期   | 令和3年10月27日から11月18日 |
| (7) 調査実施機関 | 株式会社アクス            |

## 4 回収結果

- |           |       |
|-----------|-------|
| (1) 有効回収数 | 2,452 |
| (2) 有効回収率 | 37.7% |
| (3) 回収不能数 | 4,048 |

## 5 結果の表示

- (1) 図表中のnは該当質問での回答者総数のことである。質問に対する回答は1つの場合や、2つまで、あるいは、いくつでもよい場合（複数回答）などがあるが、複数回答の場合、合計比率は、通常100%を超える。
- (2) 百分比はnを100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示した。このため、百分比の合計が100%に満たない場合や上回る場合がある。また、『(計)』はそれぞれの回答者数の総計で算出している。
- (3) 図表によっては「無回答・無効票」の表示を省略する場合がある。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。

## 6 時系列比較で使用している過去の調査の概要

### (1) 第17回「投票参加状況調査」

調査対象 横浜市内の有権者

標本数 6,500

抽出方法 選挙人名簿による無作為抽出

調査時期 平成29年12月4日から12月18日（市長選挙後）

有効回収 2,492

有効回収率 38.3%

### (2) 第18回「投票参加状況調査」

調査対象 横浜市内の有権者

標本数 6,500

抽出方法 選挙人名簿による無作為抽出

調査時期 令和元年5月27日から7月12日（統一地方選挙後）

有効回収 2,300

有効回収率 35.4%